日本共産党
名古屋市議団
市政ニュース
2015年11月16日
No.53
http://www.n-jcp.jp
名古屋市中区三の丸三丁目１－１
電話052(972)2071　FAX052(972)4190
発行・日本共産党名古屋市会議員団

戦争法廃止の国民連合政府の実現を

日本共産党市議団が河村市長に懇談申し入れ

11月16日、日本共産党名古屋市議団は、戦争法廃止のための国民連合政府について、河村市長に呼びかけ文を手渡し説明しました。これには日本共産党市議団１２名全員が参加しました。

「呼びかけ」の詳細を説明

まず田口団長が河村市長に、日本共産党の提案、「戦争法【安保法制】廃止の国民連合政府の実現をよびかけます」というパンフレットと、戦争法の危険な内容や日本共産党の呼びかけを説明している、しんぶん赤旗「特別号外」を手渡し、最近の安倍政権の政治姿勢について説明しました。

憲法改正が王道。よほど丁寧にやらんと（市長）

懇談では、憲法９条や集団的自衛権について話し合いました。日本共産党の呼びかけに対して河村市長は、「憲法改正が王道だと、ワシは何度も公言している」と述べました。

呼びかけに明快な対応を示さない河村市長でしたが、９月１９日の安倍政権による「戦争法案」強行採決に対して、「これでは民主主義が壊れてしまうとは、思われませんか」の問いますと、市長からは、「（採決は）よっぽど丁寧にやらんと。名古屋も（戦争中の）空襲で多くの市民が死んでしまった」と、発言がありました。

今回、市長に手渡した日本共産党の提案は、日本共産党ホームページからもご覧いただけます。

➡http://www.jcp.or.jp/web_tokusyu/rensei/post-1.html

河村市長と懇談する市議団

日本共産党の「国民連合政府のよびかけ」（パンフ）としんぶん赤旗「特別号外」

（1）

「しんぶん赤旗」をお読みください
●日刊紙　月3497円　1部130円
●日曜版　月　823円　1部210円
お申し込みは、お近くの党事務所、党員、または党中央委員会へ。
☎03（3403）6111　メールアドレス info@jcp.or.jp

しんぶん赤旗

特別号外
戦争法論戦マップ　2 3
戦争法廃止のたたかい　4

2015年 11月 1日 日曜日
発行所　日本共産党中央委員会
東京都渋谷区千駄ヶ谷４の26の７
〒151-8586　☎03(3403)6111

■「赤旗」公式 facebook アカウント 赤旗PR、twitter アカウント @akahata_PR　■ファクス 中央委員会 03(5474)8358　赤旗編集局 03(3350)1904　■http://www.jcp.or.jp/

「国民連合政府を」流れ大きく

各界から期待・注目

会見　会談　懇談

日本共産党が、政府・与党による戦争法強行成立（9月19日）の直後、「戦争法（安保法制）廃止の国民連合政府」の実現を呼びかける「提案」を発表してからー方月余がたちました。

産党は各界・各分野の人々と対話を行い、「提案」に対する期待や共感の声が広がっています。

小林節慶応大学名誉教授は、「わが意を得たり」と歓迎の意を表明。「立憲政治をつぶして、立憲主義と民主的な議会制度というものを回復する。これがすべてに優先します」と力説しました。

作家の瀬戸内寂聴氏は、「野党がまとまって力を強くしないとダメですね。〝うちが中心でなければいやー〟とかいっているときではありません。お互いに虚心坦懐に力をあわせてほしい」と語りました。

日本共産党の志位和夫委員長は「提案」発表後、民主党の岡田克也代表、社民党の吉田忠智党首、生活の党の小沢一郎代表と相次ぎ会談しました。社民党と生活の党とは大筋の方向性が共有されました。民主党の岡田代表は、「つくりと」と大変期待を持った。早くきたと思うのの問いに、「協力するべきだ」が48%で、「そうは思わない」の34%を大きく上回りました。

「提案」はメディアでも注目され、野党共闘に関し賛同する各種世論調査が相次いで行われています。

「朝日」10月20日付の調査によって、「野党は共闘」ということが一つの流れになりつつあります。

結果では、来年の参院選挙で野党が選挙協力するべきだと思うかの問いに、「協力するべきだ」が48%で、「そうは思わない」の34%を大きく上回りました。

「提案」が投じた一石によって、「野党は共闘」ということが一つの流れになりつつあります。

野党の選挙協力について

国民連合政府について報じる各紙